

実施計画事業名		感染症予防対策事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		生活福祉部保健課		課長(主幹)名	伊豆 健俊			
総合計画体系	分野	2	保健・福祉・医療					
	政策	1	健康づくりの推進と医療の充実					
	施策	2	心とからだの健康づくりをサポートします					
	関連施策							
現状と課題	本市は法に基づき、感染症に対する感染予防、疾病の発生及びまん延を防止するため、各種事業を実施している。また、市独自に70歳以上の高齢者に対し肺炎球菌ワクチンの接種を推進しているが、今後もより一層、市民に対する正しい知識や予防策の普及啓発を図る必要がある。また、新たな感染症の発生や、集団感染に備えた体制づくりの強化が課題となっている。							
目的	伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。							
施策展開の	①各感染症に対する予防接種を実施する (BCG、三種混合、二種混合、ポリオ、麻しん・風しん混合、インフルエンザ、肺炎球菌) ②エキノコックス症血液検査の実施と媒介動物の捕獲を行い虫体の検査を行う ③市民に対する正しい知識や予防策の普及啓発を図る							
成果指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	65歳以上のインフルエンザ予防接種の接種率		%	目標	55.0	56.0	58.0	
	説明		(インフルエンザ予防接種を受けた65歳以上の人数 / 各年10月1日現在の65歳以上の人口) × 100		実績	53.6	51.5	
活動指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	集団接種実施回数		回	目標	77	77	77	
	説明		保健センターを会場に行う予防接種事業の実施回数		実績	86	78	
				目標	-	-	-	
	説明				実績			
				目標	-	-	-	
	説明				実績			
				目標	-	-	-	
説明				実績				
事業費の実績		単位	22 年度 (決算)	23 年度 (評価年度決算見込)	24 年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	36,544	51,100	62,067		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	2,091	10,281	13,221		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	2,897	2,547	4,200		
	一般財源		千円	31,556	38,272	44,646		
	この事業にかかる職員数		人/年	2.65	2.63	2.63		
人件費(B)		千円	17,996	18,289	18,289			
計(A+B)		千円	54,540	69,389	80,356			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 新型インフルエンザワクチン接種費用助成 : 22年度で終了 子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成 : 23年度より高校1年生に加え中学2年生も対象とし実施(集団接種) ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種費用助成 : 23年度より実施(個別接種)							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<b>b</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	<b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 予防接種事業全般において健康管理システムの導入により、入力作業等の改善や予防接種履歴の一括管理ができることで、市民の問い合わせへの対応や利便性にも配慮ができた。また、2年目の取組みとしての子宮頸がん予防ワクチンの接種率は86%程度となり相当の成果を見たものと捉えている。今後においても、任意である新たなヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン、また高齢者の肺炎球菌ワクチン等についてできる範囲において個別勧奨を行うなどし、予防接種率の向上及び各種感染症のタイムリーな啓発に努める。

【2次評価】

成 果	<b>b</b>	細事業の構成	<b>a</b>	細事業の進め方	<b>a</b>	コスト効率	<b>a</b>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 肺炎球菌ワクチン接種等の効果検証方法について、検討・情報収集を進める。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--